

# 令和2年度「民間試験を活用した英語4技能向上事業」

## 報告書 E高校

### 1 令和2年度入学生の指導に係る全体計画 **Plan**

技能	1年	2年	3年
Reading	<p>(指導計画)</p> <p>1.教科書と単語集等を用いて2,900語を目安に習得させる。</p> <p>2.リピート、シャドーイング、ペア練習等、様々な形式で音読させる。</p> <p>(力)</p> <p>1.教科書の英文をパート毎に読み通して大意を把握することができる。</p> <p>2.SVを意識して読み、与えられたチャンク毎に意味を正確につかむことができる。</p>	<p>(指導計画)</p> <p>1.教科書と単語集等を用いて3,700語を目安に習得させる。</p> <p>2.必要に応じてT or F, Q &amp; A, 要約文の穴埋め、パラグラフチャートの穴埋め等の補助教材を用いて、読解活動を支援する。また速読教材を用いてWPMを意識し読む機会を与える。</p> <p>(力)</p> <p>1.教科書の英文をレッスン単位で読み通してからパート毎に読み通して大意を把握することができる。</p> <p>2.300語程度の英文を、80wpm以上で読むことができる</p>	<p>(指導計画)</p> <p>1.教科書と単語集等を用いて4,500語を目安に習得させる</p> <p>2.T or F, Q &amp; Aを継続する。要約文とパラグラフチャートについては穴埋めではなく、自分で作成する機会を与える。また速読教材を用いてWPMを高める機会を与える。</p> <p>(力)</p> <p>1.教科書の英文の意味を正確に捉え、読み取った内容について、自分でメモを取ったり、図や表を作成したりして確認することができる。</p> <p>2.400語程度の英文を、100wpm以上で読むことができる。</p>
Listening	<p>(指導計画)</p> <p>1.授業は教員の発話の50%以上を英語で行う。</p> <p>2.英文を聴かせる際には、題材の背景や聞き取りのタスクを与える。</p> <p>3.週に1度ALTの授業(TT)を設ける。</p> <p>(力)</p> <p>1.教員とALTの指示を聞き取り理解することができる。</p> <p>2.教科書の英文を聴き、補助説明があれば内容を理解することができる。</p>	<p>(指導計画)</p> <p>1.授業は教員の発話の75%以上を英語で行う。</p> <p>2.英文を聴かせる際には、題材の背景や聞き取りのタスクを与える。</p> <p>3.初めて聴く内容で問題演習を行う。</p> <p>(力)</p> <p>1.教科書の英文を聴き、内容を理解することができる。</p> <p>2.初めて聴く英文の内容を平易なものであれば理解することができる。</p>	<p>(指導計画)</p> <p>1.授業は教員の発話の75%以上を英語で行う。</p> <p>2.英文を聴かせる際には、題材の背景や聞き取りのタスクを与える。</p> <p>3.初めて聴く内容で問題演習を行う。</p> <p>(力)</p> <p>1.教科書の英文を聴き、内容を理解することができる。</p> <p>2.初めて聴く英文の内容を平易なものであれば理解することができる。</p>
Speaking	<p>(指導計画)</p> <p>1.教員やALTの発話に応答したり、ペアやグループ内で対話をしたりする機会を設ける。</p> <p>2.各学期にALTによる個別のスピーキングテストを行う。</p> <p>(力)</p> <p>1.教科書の内容についての質問に口頭で答えることができる。</p> <p>2.基本的な文法事項を用いて自分の身の周りのことを話すことができる</p>	<p>(指導計画)</p> <p>1.教員やALTの発話に応答したり、ペアやグループ内で対話をしたりする機会を設ける。</p> <p>2.各学期にALTによる個別のスピーキングテストを行う。</p> <p>3.教科書の内容や身近なテーマを題材としたスピーチに取り組みせる。</p> <p>(力)</p> <p>1.相手の話をよく聞いて適切に応答することができる。</p> <p>2.まとまりのある構成で、自分の感想や意見を話すことができる。</p>	<p>(指導計画)</p> <p>1.学習した題材について口頭で意見を述べ合う機会を設ける。</p> <p>2.各学期にALTによる個別のスピーキングテストを行う。</p> <p>3.自分が発信したいことを題材としたプレゼンテーションに取り組みせる。</p> <p>(力)</p> <p>1.意見が違う相手の話を聞き、自分の意見を述べ交渉することができる。</p> <p>2.視聴覚機器を用いて、自分の意見を話すことができる。</p>

Writing	(指導計画) 1.書くための文法の力や語彙力及び表現力を強化する。 2.パートや単元毎に簡潔に感想や意見をまとめさせる。 (力) 1.学習した語彙や表現を用いて自分の身の周りのことを書くことができる。 2.教科書の内容を理解し、空欄を埋める形で要約文を書くことができる。 3.学習した題材について5文程度で感想や意見を書くことができる。	(指導計画) 1.正しい文法や綴りと、表現方法や内容のまとまりに留意させる。 2.パートや単元毎に感想や意見をまとめさせる。 3.評価票を提示し、生徒同士で評価し、添削させる。 (力) 1.穴埋めしたパラグラフチャートを利用して、要約文を書くことができる。 2.学習した題材について10文程度で感想や意見を書くことができる。 3.推敲を重ねながらスピーチの原稿を作成することができる。	(指導計画) 1.正しい文法や綴りと、表現方法や内容のまとまりに留意させる。 2.パートや単元毎に感想や意見をまとめさせる。 3.評価票を提示し、生徒同士で添削させる。 (力) 1.自作のパラグラフチャートを利用して、要約文を書くことができる。 2.学習した題材について15文程度で感想や意見を書くことができる。 3.推敲を重ねながらプレゼンテーションの原稿を作成することができる。

## 2 試験結果を踏まえた(1)現状分析、(2)重点課題、(3)重点課題の克服に向けた実践(指導と評価の工夫) **Do**

技能	(1) 現状分析	(2) 重点課題
	(3) ①実践(指導の工夫)	(3) ②実践(評価の工夫)
Reading	(1) 長文を読む際に、1語1語の意味に捕らわれ、日本語に訳しながら読むために時間がかかっている。	(2) いちいち日本語に訳し直さずに、前から意味の塊ごとに区切って読むように意識づけさせたい。
	(3) ① 各 lesson の導入時に、初見の英文を WPM を意識させながら読ませる。 課題などで長文を読ませる。	(3) ② タイムテーブル付きのプリントを準備し、表にスコアを書き込むことで推移を把握できるようにする。
Listening	(1) 「意味のまとまり」ごとに区切り、状況をイメージして全体の意味を捕らえる力が弱い。	(2) 状況をイメージすることを意識させ、イラストを選択するワークを多用する。
	(3) ① 授業においてシャドウイングを用いる際に意味を意識させる。 ALT やリスニング教材を活用し、まとまりのある文章を聞き取る練習に取り組みさせる。	(3) ② ペアワークで、チャンクシートを活用して音読チェックを行い、まとまりごとに聞き取れているか評価させる。
Speaking	(1) 複数の文で話す力は身につけている。	(2) 接続詞を用いて、短い話をする力をつける。話題から逸れずにより詳しい情報を伝える練習をする。
	(3) ① ワードカウンターを週1回実践し、与えられたテーマで1分間スピーチをする。	(3) ② 毎学期に、JET・ALT と SPEAKING TEST を実施し評価する。
Writing	(1) 短い文を作る力はあるが、ある程度長い文章を生み出していない。	(2) 接続詞などを使ってアイデアを繋げるワークを行う。
	(3) ① 接続詞の使い方や段落構成について情報を与え、実際にテーマに沿って書かせる。	(3) ② 日々の反復練習を通しての定着を図り、定期テストの一部に出題する。 要約を個人添削する。

### 3 実践の検証 **Check** 及び改善案 **Act**

技能	実践の検証	改善案
Reading	① WPM を記録することで、だんだんと早く読めることに満足感を見出す生徒が出てきた。	① 様々な分野の内容を読むことができるよう手配する。
	① 起立して黙読し、終えた順から着席して秒数を記録するシステムにしているが、読み終わらなくても周囲を見て座ってしまう生徒がいる。	② WPM のスコアも大切だが、適当に読んだのではないように関する設問を解くことができないので、双方の記録を重視したい。
Listening	① 全員マスクを着用しての音読であるため、口元の動きが見れず評価しにくい。	① ディクテーションを実施して、音読から聞き取りが向上しているか実感させる。
	② まとまった数字の聞き取りが苦手であることがわかった。	② 定期的に長い数字の言い方を指導し、聞き取りへと移行していきたい。
Speaking	① パフォーマンステストへの取り組みはたいへん良い。	① 継続していきたい。
	② ペアワークでのスピーチを楽しんでやっているなので、このまま継続していきたい。	② テーマに合わせたフリースピーチだけでなく、リテリングやプレゼンテーションまでやらせたい。
Writing	① 課外出席者は英文での意見の書き方を指導しているが、授業では指導まで至っていない。	① 英語表現の授業において、単元ごとに英作文を課題にしてとりくませたい。
	② 短文は作れるが、接続詞を使うことが苦手な生徒がいる。	② 週末課題として、英語で日記を書かせたい。